

平成29年6月6日
 独立行政法人家畜改良センター岡崎牧場
 ～日本の畜産 改良と技術で育てます～

第2回卵用地鶏シンポジウムの開催について

「地鶏」というと地方の肉用鶏が連想されることが多いものの、昭和時代前半まで肉専用の鶏はほとんど存在せず、鶏を採卵利用した後の肉として利用（卵肉兼用）が主流でした。

こうした、卵肉兼用のいわば「卵用地鶏」（通常の卵用鶏種と異なる鶏）というべき取り組みは現在では、愛知県の「卵用名古屋コーチン」、家畜改良センター岡崎牧場の「岡崎おうはん」等と少数ではありますが、その生産振興は国際化の進展に対応した国産鶏卵の差別化と、中小規模農家の存続のサポート等という観点から重要であると考えています。

このため、昨年度に引き続き、こうした卵用地鶏の存在をアピールし普及促進を進めることを目的として、今年度も、新たな参加者（「土佐ジロー」（高知県）、「もみじ」（後藤孵卵場））を加えて、第2回目の「卵用地鶏シンポジウム」を開催することとしましたので、ご案内申し上げます。

取材等をご希望の場合は、ご一報くださいますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 : 平成29年6月23日（金） 10時30分～16時50分
- 2 場 所 : 名古屋国際センター第一会議室
 （住所）愛知県名古屋市中村区那古野一丁目47番1号
 （電話）052-581-0100



- 3 主 催 : (独)家畜改良センター岡崎牧場、中部日本養鶏研究会
- 4 後 援 : 農林水産省東海農政局、愛知県、名古屋コーチン協会、岡崎市、岡崎おうはんを普及する会、国産鶏普及協議会
- 5 会議内容等 : 別添資料のとおり

連絡先: 〒444-3161 愛知県岡崎市大柳町字栗沢1-1
 独立行政法人 家畜改良センター岡崎牧場
 業務課 山本（力也）、澤村
 TEL: 0564-46-4581 FAX: 0564-46-4587
 e-mail: nlbc_okazaki@nlbc.go.jp

第2回卵用地鶏シンポジウム（案）

1. 目的・内容

家畜改良センター岡崎牧場においては、卵用地鶏についても「肉用地鶏」と同じような発想で、通常の外国鶏種と異なる「卵用地鶏」という新たな付加価値を提案する活動を行っており、昨年度は、岡崎牧場の「岡崎おうはん」とともに「卵用地名古屋コーチン」（愛知県）、「あすなろ卵鶏」（青森県）の関係者と連携し、我が国で初めてとなる「卵用地鶏シンポジウム」を開催したところである。

これら「卵用地鶏」は、大規模養鶏とは異なる様々な差別化を念頭に開発されたものであり、今後の国際化の進展の中で、生産卵の付加価値化、直販の取り組み等により生き残りを模索する中小規模養鶏農家をサポートする強力なツールとなり得るはずであるが、その存在、活用方法等が十分認識されていないこともあり、生産・普及は未だ低い水準にとどまっている状況にある。

このため、本年度においても、新たな参加者（「土佐ジロー」（高知県）、「もみじ」（後藤孵卵場）等）を加え、第2回目となるシンポジウムを開催し、生産者、消費者等にその存在価値をアピール、普及啓発に努めることとする。

なお、今回は、「卵用地鶏」に関する各種講演、事例報告とともに、特に、卵用地鶏の定義の明確化の提案、普及のターゲットとなる卵直販店の実態調査結果の報告、卵用地鶏の育種改良・開発の可能性の情報提供等も行うことで、更なる活動の活性化、参加者の拡充を図りたいと考えている。

2. 主催者（後援）

（独）家畜改良センター岡崎牧場、中部日本養鶏研究会

（後援：農林水産省東海農政局、愛知県、名古屋コーチン協会、岡崎市、岡崎おうはんを普及する会、国産鶏普及協議会）

3. 開催日時

平成29年6月23日（金）10時30分～16時50分

4. 場所

愛知県名古屋市（名古屋国際センター）

5. 内容

【第一部】卵用地鶏の育種改良・開発の可能性（10時30分～12時）

- | | |
|-------------------|-----|
| （1）主催者挨拶（岡崎牧場長） | 10分 |
| （2）来賓挨拶（農林水産省） | 5分 |
| （3）卵用地鶏の現状等（岡崎牧場） | 15分 |
| （4）情報提供（岡崎牧場） | |

- ・ 烏骨鶏等組み合わせ検定試験 20 分
- ・ SNP 解析による新たな鶏育種改良手法開発の可能性 25 分
- ・ 卵直販店アンケート調査結果 15 分

【第二部】卵用地鶏の現状及び普及促進（13 時～16 時 50 分）

- (1) 卵用地鶏の定義の提案（岡崎牧場） 25 分
- (2) 各種事例紹介
 - ①卵用名古屋コーチン 25 分
 - ②あすなろ卵鶏 25 分
 - ③土佐ジロー 25 分
 - ④岡崎おうはん 25 分
 - ⑤純国産鶏もみじ 25 分
 - ⑥「農産物の物語を伝えよう」～ハートのある生産履歴～
休憩（15 分） 25 分
- (3) 意見交換（テーマ：卵用地鶏の認知度向上に向けて等） 40 分